



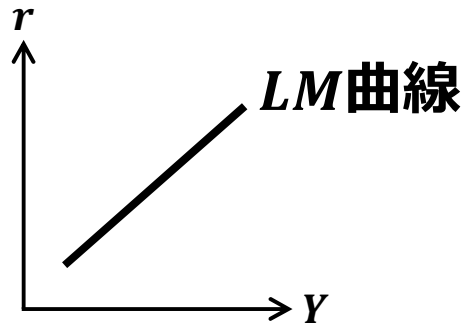
はじめよう経済学
第14講 IS-LM分析(2)

講師：加藤 真也

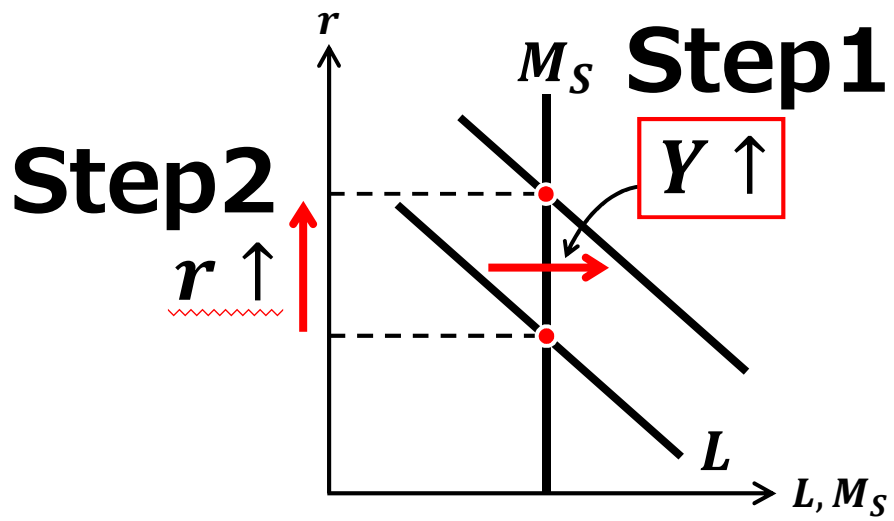
今回(第14講)は…

- LM曲線の導出
- LM曲線の右シフト
- IS-LM分析

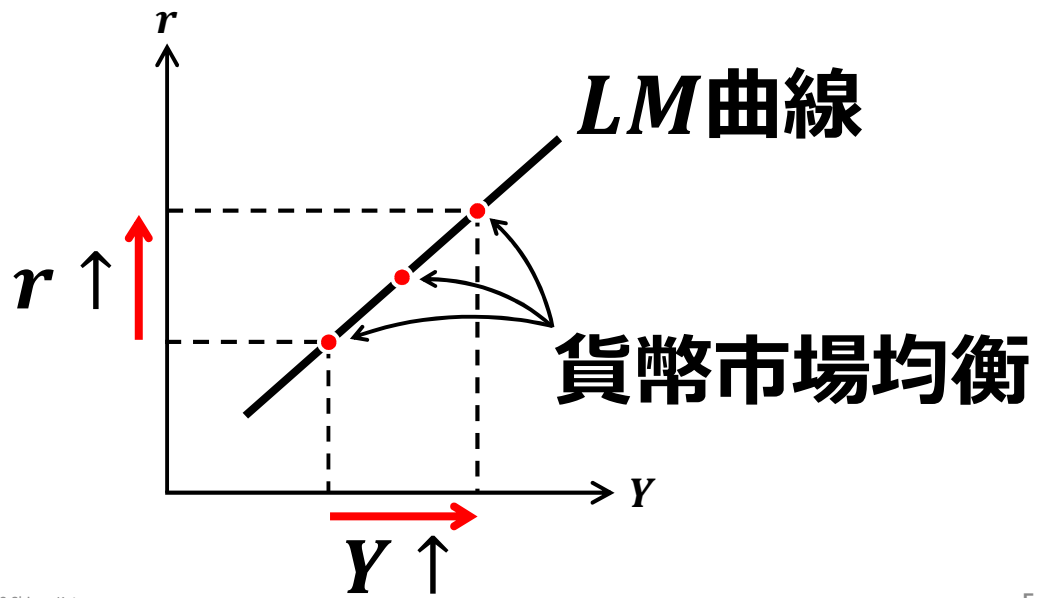
- **LM曲線の導出**



L : 貨幣需要
Ms : 貨幣供給



上図より、
 $Y \uparrow$ のとき、貨幣市場が
均衡するように $r \uparrow$



例題

$$L = L_1 + L_2$$

$$L_1 = 2Y + 4$$

$$L_2 = -r + 2$$

$$M_S = \frac{M}{P}$$

$$M = 10, P = 2$$

のとき、LM曲線の式を求めよ。

解答

貨幣市場均衡条件

$$\frac{M}{P} = L$$

より、

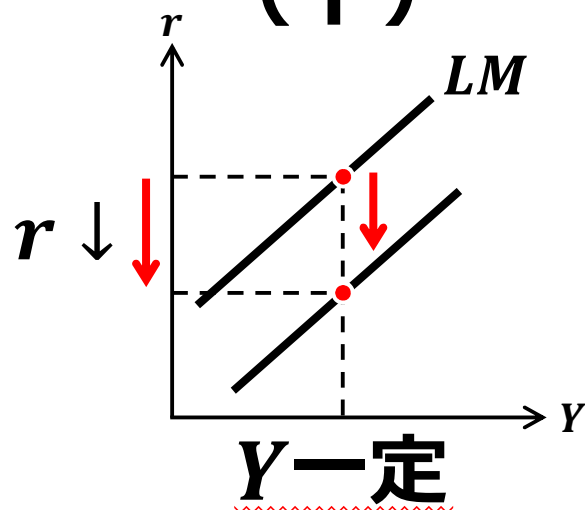
$$\frac{M}{P} = L_1 + L_2$$

$$\frac{10}{2} = 2Y + 4 + (-r + 2)$$

$$r = 2Y + 6 - 5$$

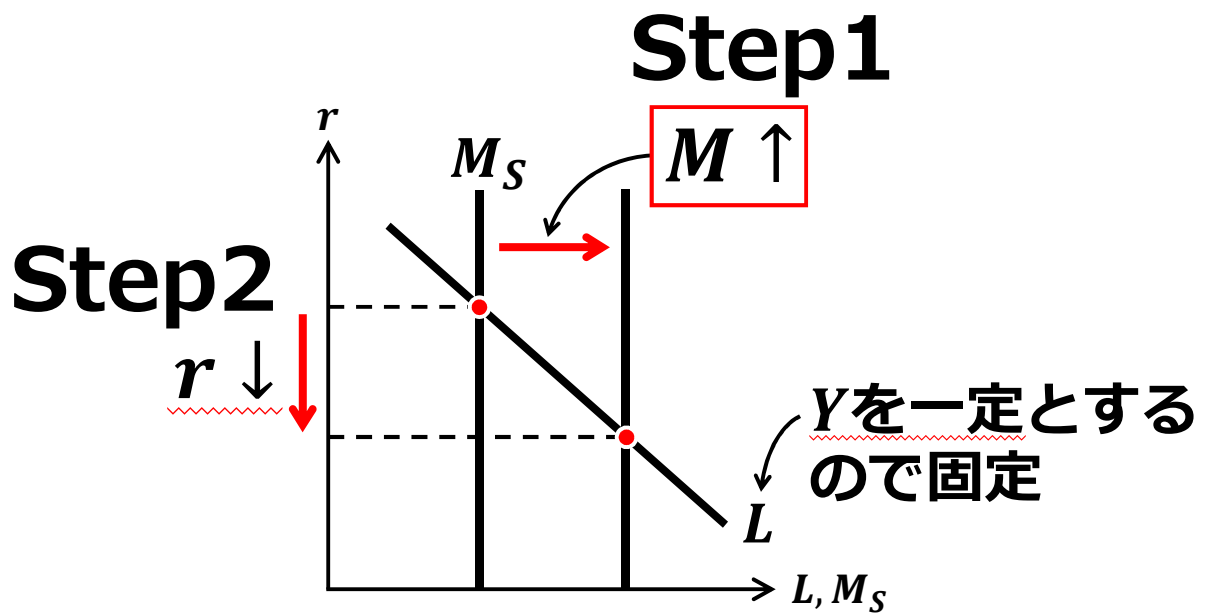
$$\underline{r = 2Y + 1} : \text{LM}$$

- **LM曲線の右シフト
(下)**

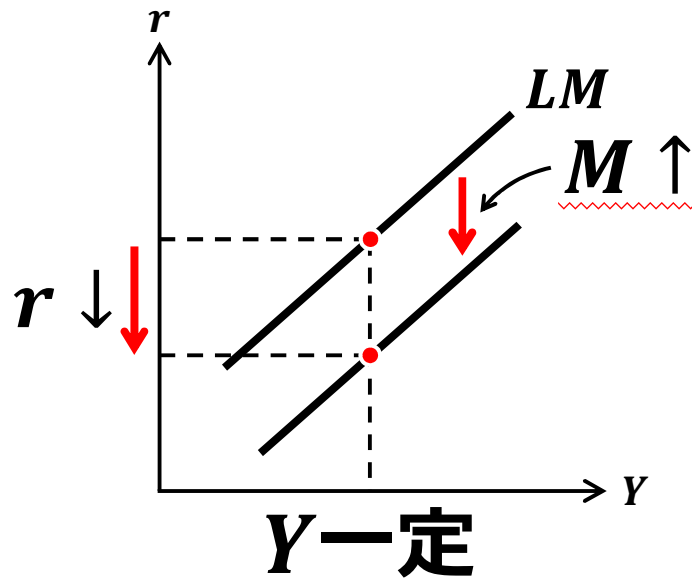


「 Y を一定として r を下げるには？」

結論 $M \uparrow (P \downarrow)$
金融緩和策

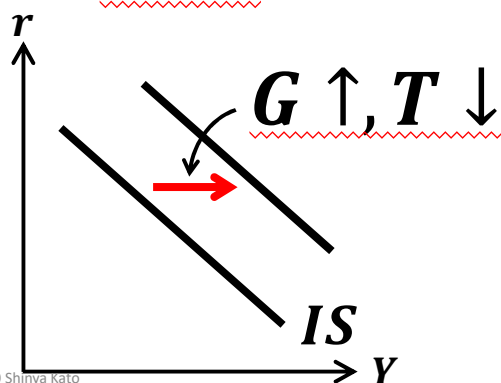


よって、
 Y を一定のまま、 $M \uparrow$ で
 $r \downarrow$ となる



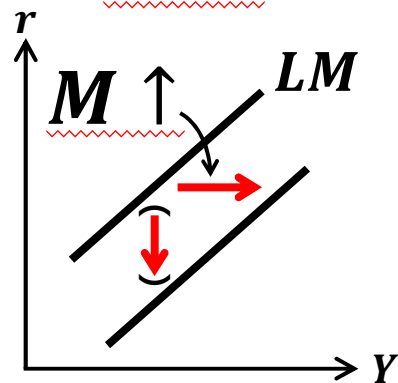
まとめ

- 財政政策
⇒ 政府が行う

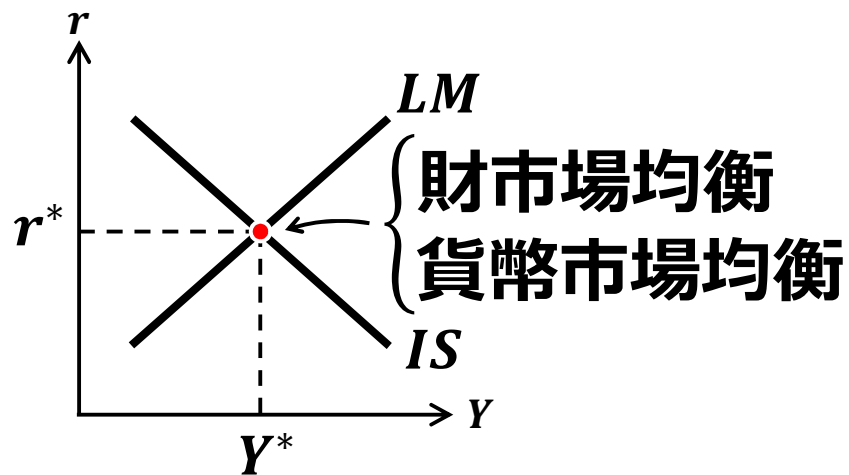


© 2020 Shinya Kato

- 金融政策
⇒ 日銀が行う

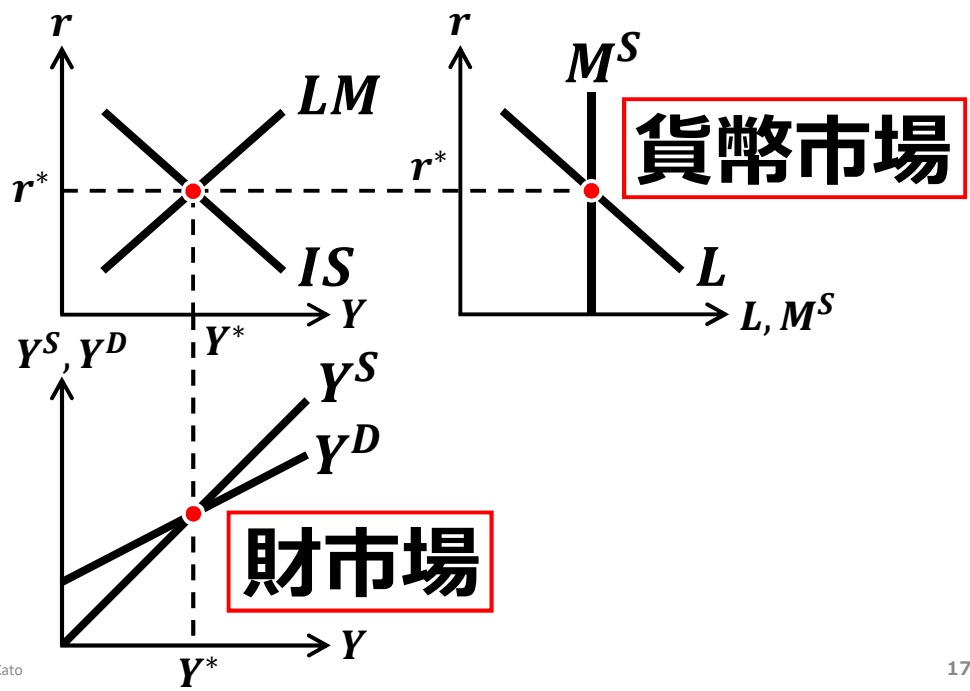


- **IS-LM分析**

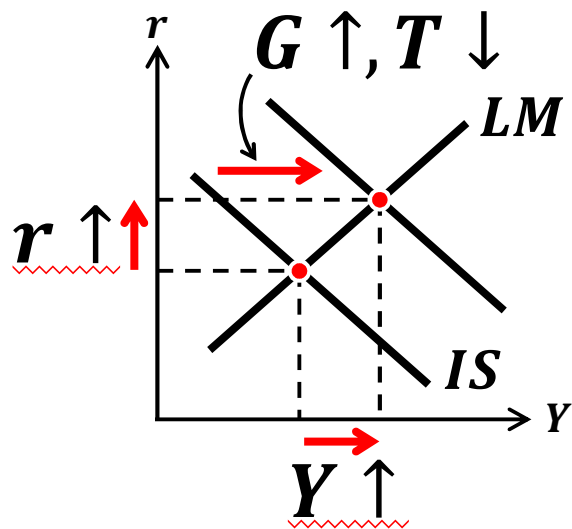


Y^* : 均衡国民所得

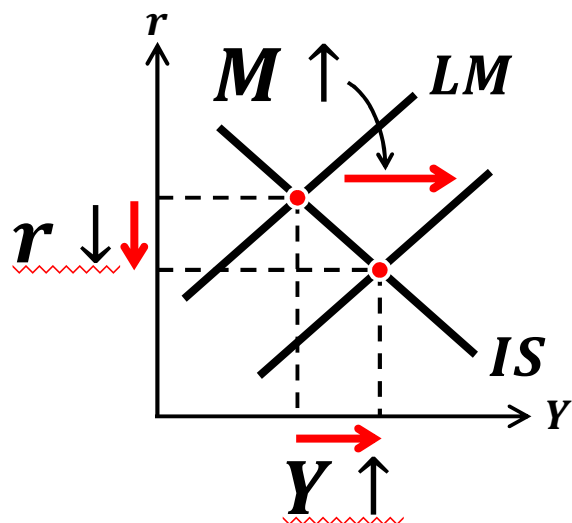
r^* : 均衡利子率



① 財政政策($G \uparrow, T \downarrow$)



② 金融政策($M \uparrow$)



例題

$$Y = C + I$$

$$C = 0.8Y + 2$$

$$I = -r + 6$$

$$\frac{M}{P} = L_1 + L_2$$

$$M = 10, P = 2$$

$$L_1 = Y$$

$$L_2 = -r + 7$$

**のとき、IS曲線、LM曲線
の式を求め、 Y^* , r^* を求めよ。**

解答

$$Y = C + I \text{ より、}$$

$$Y = 0.8Y + 2 + (-r + 6)$$

$$\underline{r = -0.2Y + 8 : IS}$$

$$\frac{M}{P} = L_1 + L_2 \text{ より、}$$

$$\frac{10}{2} = Y + (-r + 7)$$

$$r = Y + 7 - 5$$

$$\underline{r = Y + 2} : \text{LM}$$

IS, LMを連立して、

$$\begin{cases} r = -0.2Y + 8 : \text{IS} \\ r = Y + 2 : \text{LM} \end{cases}$$

$$-0.2Y + 8 = Y + 2$$

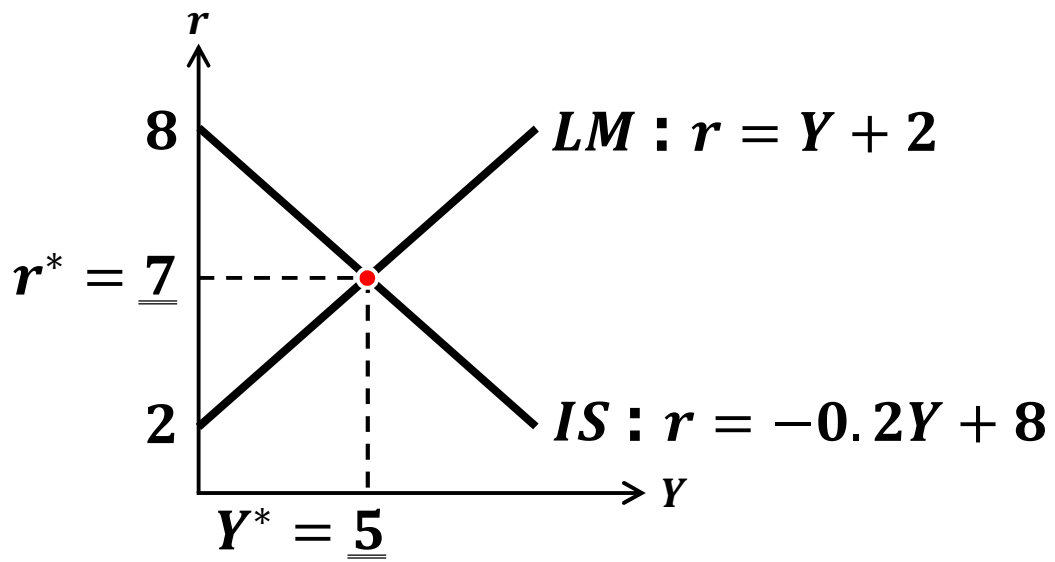
$$-1.2Y = -6$$

$$Y^* = 6 \div 1.2 = \underline{\underline{5}}$$

これをIS(もしくは、LM)
に代入して、

$$r^* = -0.2 \cdot 5 + 8$$

$$= -1 + 8 = \underline{\underline{7}}$$



次回(第15講)は…

- ・ 次回はゲーム理論です
- ・ ビジネスマンにも人気のある内容です
- ・ 日常生活に応用しやすいことも魅力の一つです